

# 「希望の子」

文責：校長

令和7年 4月28日

第1号

## 【令和7年度 南小学校スタート】

令和7年度が始まりました。285名の児童のより良い成長を願って、全職員で教育活動に精一杯取り組みます。

### 《児童数》

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
児童数	42	60	40	58	40	45	285

※ 各学年2学級、特別支援学級2学級

### 《学級担任等》

担当等	氏名	担当等	氏名
1年1組担任	児玉晃太	1年2組担任	串間麻衣子
2年1組担任	長崎雄史	2年2組担任	貴島楓
3年1組担任	斎藤寿子	3年2組担任	井上百合子
4年1組担任	高口章子	4年2組担任	稻村龍輝
5年1組担任	外山耕平	5年2組担任	五十嵐彩恵
6年1組担任	日高貴善	6年2組担任	日高愛樺音
特別支援4組担任	大曲真也	特別支援5組担任	松吉ひろみ
外国語科等専科 3~6年	松尾拓実	音楽専科:1~6年	今藤誠一
体育専科:3~6年	坪田啓介	教務主任 理科専科:5~6年	飛松久見代
事務主事	山下智貴	養護教諭	水野直美
スクールサポートスタッフ	森下良子	学校図書館協力員	泊桃子
学校用務員(3校兼務)	坂元裕一	PTA事務	川崎晶代
	田中誠	特別支援教育支援員	芹田とよ子
自己啓発休業(兵庫教育大学大学院在籍)	大田千裕		南園亜里沙
教頭	檜畠秀明	校長	大木場俊弘

## 【ぜひご家庭で…「メディアコントロール」と「お手伝い」】

PTA 総会でもお話ししましたが、本年度の学校経営に関して、特にご家庭の協力をいただきたい取組が2点あります。「メディアコントロール」と「家庭でのお手伝い」です。

PTA 総会では、次の資料を紹介しました。

## 「『手伝い』する子は勉強もできる」

家庭で手伝いをする子は、学校では良い子です。おそうじをはじめにやります。用事をたのむと、喜んでやってくれます。すぐに身体が動きます。生活態度がきちんとしており、安定しています。小さい頃の子どもは、お手伝いを喜びます。この時期に、少しづつ仕事を与え、教育していくことが大切なのです。小さい子のお手伝いは「じゃま」なものです。でも、貴重な教育の場面なのです。

40年近く昔、都立教育研究所が、大々的な学力調査をしました。とっても、変わった調査でした。中学生を対象に、知能指数が同じ子を調べたのです。

知能指数が同じなのに「オール5」(ぐらい)の子と「オール1」(ぐらい)の子を、東京都中から選んで調査したのです。知能指数が同じなら、素質は同じということができます。しかし、一方でオール5の子があり、一方でオール1の子がいるのです。

調べてみると、原因はいろいろでした。「これは、こうだ」と、はっきり断定できませんでした。しかし、注目すべきことが2つ見つかったのです。

その1 オール5の子は、家庭で手伝いをしている。

オール1の子は、家庭で手伝いをほとんどしない。

その2 オール5の子は、テレビを見る時間が家庭内で決まっている。大体1日1時間半。

オール1の子は、テレビの約束がなく、長く見ている。大体3時間以上、時には4時間、5時間見る子もいる。

向山洋一 (『家庭教育ツーウェイ』2005年8月)

学力にも大きな影響を与えるのは、「お手伝い」と「テレビの視聴時間」と言えそうです。「テレビの視聴時間」は、今ならゲームやスマホなどのメディアに触れる時間になると思います。

このメディアコントロールについては、小林市全体でも重要テーマとして取り組みます。

PTA総会資料の14ページにも「子供の生活力向上と生きる力を育む取組」として「スマホ・タブレット・ゲーム等の使い方について、『我が家のルール』作成に取り組みます。」と書いてありますが、ぜひ取り組んでいただきたいです。

また、家庭でお手伝いをしている子は、生きる力が育ちます。すでにお手伝いをされているご家庭はたくさんあると思いますので、続けていただきたいです。

学力には、テストで測れる「見える学力」がありますが、テストでは測れない「見えない学力」もあります。「生きる力」により大きく関わるのは「見えない学力」の方です。「見えない学力」を家庭で持続的に育てるには、お手伝いをさせるのはとても効果があります。

この「メディアコントロール」と「家庭でのお手伝い」については、ご家庭でも積極的に取り組んでいただけないでしょうか。

【南小ホームページを更新しています】

4月の学校の様子は南小学校のホームページに記しております。

ぜひご覧ください。

南小HPのQRコード →

